

---

# 夜更かし

† アラクネ †

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夜更かし

### 【Nコード】

N9971K

### 【作者名】

十アラクネ十

### 【あらすじ】

作者ことアラクネが見た夢を、そのまま小説にしてみました。

休みの前夜。

早々に帰宅してから食事を済ませ、時間をかけて入浴をしたら、後はゲームと映画でくつろぎタイム。

時間はあつという間に過ぎ去り、気付くと深夜二時を回る時間。ちょうど映画も終わった所だ、そろそろ寝ようかと欠伸など漏らして。

エンドロールが流れる画面を見ながら思い切り伸びをした時、突然携帯電話が鳴り出した。

『あゝっ！ 良かった起きてたアラクネっっっ』

公衆電話の表示にやや警戒したものの、出てみれば何のことはない、近所に住む友人の声である。

『今近くのコンビニだよぉ、合コンあつてさあ、終電で帰って来たんだけど、駅に着いたら変質者がいたんだよぉっ』

深夜に変質者と遭遇とは、なかなか由々しき事態である。

しかしいくら酒が残っているせいか、彼女の話口調からはイマイチ危機感が伝わって来ない。

『気味の悪い女でさあ、目をこうバチツと見開いて、口元だけニヤつかせてえ』

女はバサバサした長髪の隙間から血走った視線を向けて、手に持った鋏をしきりに開閉させていたのと言う。

ジャキン、ジャキン、ジャキン、ジャキン、ジャキン、……

深夜の変質者＋凶器ときたら、もう完璧だ。さすがに恐怖を感じた彼女は携帯電話の充電が切れていたこともあり、とりあえずコンビニに入ってやり過ごそうと考えたらしいのだが。

『立ち読みしてる間もしばらく角の電柱からずっとこっちをジロジロジロジロ、ああもう、マジ気持ち悪っ！ マジ頭ヤバくない？』

痴漢に合った女子高生みたいなその口調に、私は少しか苦笑する。

それにしても。まあ、一人暮らしの彼女をこのままアパートに帰すのもやや気掛かりだったりして。

「今って交差点とこのエブリーマートでしょ？ いいからダッシュでうちまで来ちゃいなよ。明日日曜だしさ、泊まっていきなよ」

コンビニから家までは、本当に目と鼻の距離なのだ。

『アラクネたん優し過ぎ？っ！ すぐ行きますう！』

電話を切り、ふうっと一息。

深夜の慎ましい静寂が部屋に戻り、私は何とはなしに窓を開ける。

夜の涼やかな風。その中にアスファルトを叩くカツカツという音が響いて混じる。

友人がヒールで必死に走って来る姿を想像して、思わず嘖き出してしまふ。

玄関の鍵を開ける為に、下の階に行きかけた。

が、案の定自宅前で止まった足音を聞いて、私はふと窓辺に戻った。深い意味はない。本当に、何となく。

私は窓から体を乗り出し、下に向かって呼び掛けた。

親しい友人に向けた気軽な口調に応じて、下にいた相手が顔を上げた。

長い髪が脂に汚れて夜風にもそよがず、その髪束の隙間から、大きな血走った目が私を真っ直ぐに見上げていた。

真っ赤に充血した目だった。ただ、唇だけは引き攣れたようにピクピクと口角を上げて微笑みの形に歪められて……

ジャキン、ジャキン、ジャキン、ジャキン、ジャキン、ジャキン

……

（後書き）

作者の見た夢をそのまま小説にただけの作品です。なので、オチには様々な解釈があると思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9971k/>

---

夜更かし

2010年10月28日06時33分発行